

2026年度講義内容一覧表(土木)

講義日	講義会場	時間	講義順	カリキュラムコード	講義概要	講義レベル	対面 ハイブリッド 区分	講師(所属)
9/30 (水)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	13:20～14:50	1	D05	土木インフラのリスクマネジメント データサイエンスとリスク評価(フォルト・ツリー分析) EBPMに基づくリスクマネジメント リスクマネジメントの視点からの目視点検	初級	ハイブリッド	貝戸 清之 大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 社会基盤マネジメント学領域 教授
		15:10～16:40	2	D12	高力ボルト接合	初級	対面	山口 隆司 大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 橋梁工学研究室 教授
10/7 (水)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	9:10～10:40	3	D02	鋼製基礎・鋼管杭 鋼管杭工法、鋼管矢板基礎の概要 設計法・施工手順・管理等	初級	ハイブリッド	田近 久和 (一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会 JFEスチール(株) 建材技術部 土木技術室 主査
		11:00～12:30	4	D04	設計基準 技術基準類の体系 R7道路橋示方書改定概要	中級	ハイブリッド	森本 敏弘 国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター(CAESAR) 橋梁構造研究グループ
		13:20～14:50	5	D08	構造物の設計のための振動の基礎知識 1自由度系と多自由度系の振動と動的現象の周波数分析 および固有振動特性と減衰特性	初級	ハイブリッド	矢部 正明 (一財)首都高速道路技術センター 上席研究員
		15:10～16:40	6	D09	耐震設計・免震設計・制震設計 構造物を設計する上で知っておいて欲しい地震動特性と 耐震・免震・制震設計を行う上での留意事項および 地震被害から学ぶべき事	中級	ハイブリッド	
10/14 (水)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	9:10～10:40	7	D03	橋梁計画 橋梁計画で検討を必要とする事項、設計計算書に記載を必要とする 事項、橋梁計画の手順(橋長・支間割・橋梁形式・構造の決定要領)、発注者・設計者・施工者の役割	初級	対面	鈴木 泰之 (株)建設技術研究所 東京本社 技術統括部 ブルーエンジニア
		11:00～12:30	8	D13	品質管理 ・世界工業技術の三大失敗 ・近年の国内外での品質トラブル・事故事例に学ぶ ・リスク管理ー思考停止、マニュアル病、失敗は伝わらないー ・想定外を克服して「製品品質」から「技術品質」へ	初級	対面	佐藤 浩明 (一財)橋梁調査会 北陸支部 調査役
		13:20～14:50	9	D11	製作全般 原寸 罫書 切断方法 加工 組立 溶接施工管理 仮組立 輸送 設計・製作の自動化・省力化 品質管理	初級	ハイブリッド	村上 貴紀 宮地エンジニアリング(株) 千葉工場 技術研究所 所長 生産技術グループ グループリーダー
		15:10～16:40	10	D06	鋼道路橋の疲労設計 鋼構造の疲労損傷事例 疲労設計の基礎と必要性 道路橋示方書の疲労設計(疲労設計荷重、疲労強度、照査方法) 疲労設計例	初級	ハイブリッド	森 猛 法政大学 名誉教授
10/20 (火)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	13:20～14:50	11	D20	特別講義2 AI(人工知能)の基礎と将来展望 AI(人工知能)の基礎と将来展望についての解説 AIの基礎としてAIの歴史,AIの基礎的事項についての説明, 今までに開発された種々のAIの手法の紹介 現在AIで最も有望な技術と言われている深層学習 (ディープラーニング)について簡単な例を用いての詳細な説明等	初級	対面	古田 均 大阪公立大学 特任教授
		15:10～16:40	12	D14	鋼構造の維持管理 鋼橋の損傷・劣化、点検・健全度診断 維持補修・補強、インフラマネジメント	初級 ～ 中級	ハイブリッド	高木 千太郎 アイセイ(株) 技術開発担当部長 (一社)日本構造物診断技術協会 顧問
10/22 (木)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	13:20～14:50	13	D17	座屈設計と鋼構造 限界状態設計法,部分係数設計法,座屈設計など	中級	ハイブリッド	松村 政秀 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授
		15:10～16:40	14	D18	橋梁火災 ～万が一、熱履歴を受けた鋼、合成桁橋の 対応業務を行うことになったら～ ・橋梁火災の恐ろしさ(事例紹介) ・鋼、コンクリートの高温時、加熱冷却後の常温時強度 ・熱履歴を受けた頭付きスタッドのずれ性状、合成桁の疲労性状 ・熱履歴を受けた橋梁の被災度判定 など	初級	ハイブリッド	大山 理 大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科 教授
10/27 (火)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	11:00～12:30	15	D01	鋼材の基本特性、橋梁用高性能鋼の紹介など 鋼材性能 高性能鋼 橋梁用高降伏点鋼板 SBHS	初級	ハイブリッド	高木 優任 (一社)日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会 日本製鉄(株) プロジェクト開発部 プロジェクト開発技術室長
		13:20～14:50	16	D10	複合構造 概説 基本原理 合成床版 複合橋梁と設計 合成桁の設計 海外基準 AASHTO LRFD,ECと道示の違い AASHTO LRFD設計計算例 AASHTO LRFR(維持管理設計法)	中級	ハイブリッド	奥井 義昭 埼玉大学 社会変革研究センター・レジリエント社会研究部門 客員教授
		15:10～16:40	17	D16	鋼橋架設技術 各種架設工法とその選定、架設計画時の工法別留意点 架設時の不具合事例・事故事例、安全対策	中級	対面	齋藤 清 JFEエンジニアリング(株) 社会インフラ本部 橋梁事業部
11/18 (水)	エッサム 神田ホール 1号館 701号室	11:00～12:30	18	D19	特別講義1 電力鋼構造物の設計と運用保守 ・電力鋼構造物(送電用鉄塔、水門扉、水圧鉄管)の概要 ・送電用鉄塔等の設計と維持管理 ・水力鋼構造物の設計と維持管理 ・災害レジリエンスの強化に向けてー配電設備を例にー	初球	ハイブリッド	石川 智巳 (一財)電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 構造・耐震工学研究部門長
		13:20～14:50	19	D15	インフラDXとモニタリング ・モニタリングとDX ・各種センシング／測位技術 ・AI／データプラットフォーム／三次元モデル ・UAV・ロボット等の利活用	中級	ハイブリッド	阿部 雅人 (株)ベイスコンサルティング
		15:10～16:40	20	D07	・鋼橋の耐震・制震設計に関するQ&A ー大震災から如何に学んできたかー ・現行の耐震・制震設計の高度化に対する課題	中級	ハイブリッド	葛漢彬 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 理工学研究科 社会基盤デザイン工学専攻 教授

※1 日程は、都合により変更する場合があります。
※2 希望者が一定人数に満たない場合は、中止することもあります。
※3 講義時間は全て1時間半です。
※4 ハイブリッド講義は対面とオンラインの同時講義です。